

ゲートテントへのお問い合わせに対する、ご返答

①建築確認が必要か？

- ◎ 建築確認が必要か必要でないかは、弊社が判断する立場ではなく各市町村の判断になります。確認申請の必要性の有無のご返答は弊社からは出来ません。
建築物の定義は非常にあいまいで固定方法、固定期間によっては建築物扱いになる場合がございます、そして各市町村や建築確認担当者によっても返答が異なります。
ゲートテントは伸縮したり移動ができる商品なので、弊社では一般折り畳みテントと同様の物販品として販売しています。
何卒、建築確認の有無はお客様の判断で、ご理解ご納得の上ご購入をお願い申し上げます。
(販売実績として役所機関、特殊法人、JA、JR、一部上場企業など多数で 平成27年6月現在、お客様購入後の建築確認等での問題は弊社確認の範囲で一件もございません)

②どれだけの強度があるのか強度計算書を出してほしい、強度は大丈夫か？

- ◎ ゲートテントはそもそも建築物ではない、運動会等で使われるテントと同じで物販扱いとして販売していますので強度計算書はございません。
- ◎ ゲートテント自身、風が無い場合は何ら問題はないのですが、強い風が想定される場合は、いかに補強を施し固定できるかで耐久性が変わります。
街並みの樹木と同じで、添木とかワイヤーでいかに補強をするか、それによって転倒や破損を防ぐことができます。
- ◎ 購入されたお客様でしっかり固定(風対策)をされている場合は、大きな破損等は起こっていませんがゲートテントの風に対する強度保証はございません。
何卒ご納得ご了承の上ご購入をお願いいたします。
- ◎ 積雪に対する強度保証も出来ません、現状は都会で降る雪程度では問題が起きていませんが設置環境や風速によっても負荷が異なるため、何cm以下なら大丈夫という規定はございません、積雪時はしっかり収縮していただくのが基本です。
ただし、単管パイプにて梁の補強を施すことができ、しかも梁ピッチ(奥行1000間隔)を小さくすることにより耐久性を向上させることは可能です。
- ◎ シートの耐久年数は5～10年ですが、設置環境によってはそれ以下になる場合がございます。
- ◎ シートの一部が破損した場合は1000ピッチで修理可能です(業界初！)
本体のアルミ部材もすべての個所で修理が可能です。(業界初！)

注1 設置環境や自然条件によって屋根シートが結露し、水滴が落ちる場合がございます。

注2 強風時は屋根シートが揺れることにより、程度の差はございますがバタツキ音がいたします。

注3 設置環境やその他の要因で屋根に一定量の雨水が溜まったりする場合があります 時に、まとまった雨水が落ちる事がございます。